



小城分教場



作山分校



小長湫分校



熱田分校

現在の廃校舎



水産業風評被害は他人事ではない！



こだに やすひと
小谷 康仁議員

戦後、義務教育の見直しから山間部の奥まった集落の子供達も学校へ通う時代となりました。そ

廃校舎が現状のままでも良いのか！
研究しながら対策を検討したい

の後、集落の人々も減り、分校の役割も終え閉校して行きました。その分校には、村岡区の小城分教場や作山分校、小代区の小長湫分校や熱田分校があります。現在、熱田分校以外は校舎が瓦礫の山や壊れかけ寸前になっていきます。たくさんの子供達が通った、学舎

をこのままの状態にしていてよいのか伺います。

、解体、廃材撤去等のお願いを行う等の対策を検討していきたいと考えています。熱田分校は、管理人立会いの下で内部見学等を行っています。今後、周辺の環境整備を含めた様々な対応を検討していきたいと考えています。

水産業の風評被害への対応は

今後の動向に注目します



まつおか だいご
松岡 大悟議員

8月24日から福島第一原発ALPS処理水の海洋放出が開始された。これにより福島県や東北地方の水産業への風評被害が懸念されている。

① 香美町として、福島県や東北地方の水産業を支

援する。
② 今後、日本海側の水産業にもその影響が懸念されるが、支援策の想定はあるのか。

町長 本町も水産の町の一つとしてもちろん応援する気持ちを持っています。例えば、福島県や東北地方の方々と町内の漁業者・水産加工業者のつながりの中で消費の後押しや安全性の発信等により応援したいという機

運が高まれば、関係者・関係機関と連携し、できることを検討します。今後、日本海側の本町においても影響が懸念されま

